

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	いつ終わるか分からないコロナ禍のため、地域との付き合いができない。	写真や作文を通じて交流を図る。	地域の交流センターで、交流方法などを研修させてもらう。 老人会や地域の自治会の会長に連絡を取って交流方法を指導して頂く。	12ヶ月
2	34	体調の急変、事故発生時の対応の徹底	職員全員が適切な判断をし対応ができるようになる。	体調変化等見逃さないように努める。 申し送りノートを有効に使用したり、朝礼で意見交換を行う。	12ヶ月
3	45	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように支援する。	浴槽で温まる。柚子湯、バスクリンを入れて足腰の血液循環をよくする。	入浴を行うことにより皮膚の感染症が判明する。身体全体が温まり健康にも良い。 浴槽をまたぐと機能訓練にもなる。	12ヶ月
4	54	利用者様の居室になるため、人によっては沢山思い出の品物があるため安全性が保持されていない場合がある。	毎日掃除をして、清潔感と安全性が保持される居室で過ごして頂きたい。	本人様と職員が、コミュニケーションを取りながら一緒に掃除をする。なるべく危険な物を置かないように声かけする。自宅でいた頃を思い出しながら個性を引き出して楽しい毎日を送れるよう支援する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。